



むらさん

第17号

発行者

山形県立村山産業高等学校
PTA広報委員会

印刷

中央印刷(株)村山支店
TEL 0237(55)3700



村産祭



入学式



学年行事風景(1年生、ドローン撮影)



交通安全講習



オープンスクール



むらやま徳内まつり参加

日頃、本校の教育活動につきまして、ご理解とご支援を賜り、深く感謝申し上げます。今年度もスタートして半年が経過しようとしております。コロナ禍により大きな影響を受けた教育活動も、3年ぶりに再開された取組みも増え、学校は徐々に通常の姿を取り戻しつつあります。8月20日には「むらやま徳内まつり」にPTA役員の皆様と、生徒、職員有志で参加いたしました。生徒は生き生きと演舞を披露し、パレードの際には市民の



地域に欠かせない学校に

校長 伊藤 久敏

皆様から多くの拍手と励ましをいただきました。改めて、地域に求められることは本当に素晴らしいことであることを実感し、また断たれつつあった諸活動が再びつながり始めたという思いをしております。今後、地元地域をフィールドに生徒が主体的に活躍できる学びを提供してまいります。会員の皆様には、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。



コロナ禍での成長

PTA会長 柴崎 雅典

会員の皆様には日頃よりPTA活動に対してご協力頂き誠にありがとうございます。コロナ禍の高校生活では、今なお様々な自粛と制限付きでの活動が続いています。

と多種多様な専門的な体験のできる設備が整っており、今後社会に踏み出した際に武器となる「人間力(経験値)」を磨くことのできる特別な学校であると思います。

そんな中、子供達には「こんな時こそできること・やれること・やりたいこと」を見つけ出し、卒業する時には自分自身の成長を実感することができるようになってほしいと願っているところです。

子供達が成長するには無気力・無関心ではなく、コロナ禍でも好奇心を持ち続け、何事にも前向きに挑戦してみる姿勢が必要だと思います。先生方のご指導の下、今しかできない経験を沢山積んでいただくための支援をPTAとして行っていきたいと思っています。



生徒会紹介

生徒会長 土屋 昌大

今年の生徒会は、新型コロナウイルスの影響を受けながらも、季節毎のイベントや行事を行うことができました。

季節毎のイベントは、主にむらさんクリスマスや七夕を行いました。生徒全員が楽しめたイベントだと思いました。行事は、クラスマッチでは、体育委員会と連携して、最高のクラスマッチにすることができました。また今年は、徳内祭があり、生徒会メンバーが、ボランティアとして参加できて良かったと思います。

常時活動では、朝の挨拶運動として放送を使って取り組むことができました。二期にも継続してあるの、意図に行っているかと思っています。

これからも、常時活動、イベントの運営の活動を徹底し、よりよい学校にしていくなために生徒会全員で活動します。また、村産の活動を地域に広めることに力を入れていきます。よろし

くお願いします。

生徒会副会長 菊地 湧登

本年も新型コロナウイルスによる影響が懸念されており、私たちが村産生徒会は、コロナウイルスに対する配慮が欠かせない日々の中でどうしたらより良い学校にできるのかを考えながら活動しています。

生徒会の活動では、生徒会理事と連携しながら行事をスムーズに進めることができました。また、体育委員会と協力し、感染症の影響で制限もありましたが、クラスマッチの準備や計画を行うことができました。

私は、村山産業高校の生徒の皆さん一人ひとりが主役となれるような村産を目標にしています。そのため意見箱を活用し、皆さんの意見を幅広く取り入れたいと思います。

これから生徒会長をはじめ執行部のみんなと村産生全員の力を結集させて、目標に向かって邁進したいと思います。これからもよろしくをお願いします。

生徒会副会長 青山 恵澄

私は、生徒会副会長として、村産の生徒一人一人が楽しめる、充実した学校生活を目指していきたいと思っています。そのために、まずは身の回りの環境作りに力を入れていきます。「クラスマッチ」「村産祭」などと、様々な行事がある中で、新たな工夫を加えていったり、一から新しい行事を企画したりと、少しずつ環境に変化を起こしていきます。

また、充実させるのは行事だけではありません。勉強の面でも力を入れていきたいです。私はよく「賢そう」「真面目そう」と言われるのですが、実は勉強が苦手です。みんな苦手な勉強だからこそ、皆さんと一緒に乗り越えていきたいです。

限られた時間の中ですが、精一杯頑張っていきます。

生徒会議長 山方姫華瑠

生徒会議長の山方姫華瑠です。今年の生徒会は昨年に引き続き、「コロナだから出来ないではなく、コロナだからできることをする」を軸とし

て活動を行っています。議長としてスムーズな会の進行や各行事の運営に尽力し、よりよい村産を作り上げるため生徒会メンバーと生徒の皆さんと歩んでいけたらと思います。残す大きな行事は文化祭となりましたが、学校全体で盛り上がるものにしていきましょう。これからも本校生徒会をよろしくお願いします。

生徒会副議長 菅野 一星

生徒会副議長の菅野一星です。副議長は議長の影に隠れていてあまり目立った役割ではないかと思っていたのですが、実際は生徒総会の進行やクラスマッチの開閉会式の進行などを行うので、とてもやりがいがあり楽しく仕事できています。

新型コロナウイルスの影響もあり制限がありました。最近では制限が緩和されてイベントも通常に近い形でできるようになってきています。これまでよりも楽しいイベントにできるように活動していきます。

学科紹介

農業経営科

農業経営科の学習は、「作る（育てる）」「加工する」「食べる」「売る」から成り立っている。生徒たちは、実際に自分たちの手で植物や動物を育て、それを直接（もしくは加工して）商品化し、校内や地域の方々に販売するという経験を重ねていく。試食や販売を通して、自分たちの作る生産物に自信と誇りを持つようになる。また、「家族に食べさせたいから」と、様々な農産物を購入し家に持ち帰る生徒も多い。販売を通して地域の方々と繋がり、家族や地域の方々から褒められる経験を通して生徒たちは大きく成長していく。

実習の合間や生産物の試食時に、農業経営科の生徒と話していると、「この学科を選んだよかった」「この学校を選んでよかった」と満面の笑顔で話してくれる生徒が実に多いことに気付く。このことが、生徒募集に正しく反映されることを願うばかりである。

農業環境・みどり活用科

農業環境・みどり活用科は、森林管理や農業土木、野菜・草花の栽培や食品加工、フラワーアレンジメントについて学んでいます。森林などの学習では、下刈りや間伐などの森林管理作業、シイタケやマイタケなどの林産物の生産、木材を活用した木工品の製作などを学びます。また、地元の建設会社や測量会社と連携した見学や出前授業が多くあり、実践的なことを学ぶことができます。野菜や草花の学習では、夏から秋にかけての葉菜類、果菜類の栽培、それらを用いた食品加工、花壇に用いる草花苗の生産やベニバナなどの切り花の栽培、花や観葉植物を用いたアレンジメントについて学びます。フラワー装飾や室内園芸装飾に関する技能検定を取得することにも力を入れており、外部講師を招いた連携授業も数多く実施しています。



機械科

令和三年度に文部科学省が実施した「スマート専門高校事業」によりデジタル化された万能試験機とビックカース・ブリネル硬度試験機が新たに導入され、令和四年度より本格的に授業の中で活用している。更に今年度は、日本自動車教育振興財団が行った自動車教育用教材提供に申請をしたところ、トヨタ自動車「ビッツ」一台を教材として提供して頂くこととなった。また、山形銀行を通して私募債により県内二社からロータリーバンドー、ハイトゲージなどを寄贈して頂いた。現在の機械科に設置されている施設・設備は県内の高校でも上位に位置する充実した状況にあると思われる。施設・設備を活かした更なる学習内容を現在検討中である。



電子情報科

なかなか収まらないコロナ禍ではありますが、様々な工夫をしながら、ものづくりを中心に活動しております。第十七回若年者ものづくりコンテストWebデザイン職種において、三年庄司竜清と平光雅が山形県予選を通過し、広島で開催された全国大会に出場しました。また、三年大場健広が千葉県で十一月に開催される第六十回技能五輪全国大会Webデザイン職種に山形県代表として出場することが決まりました。本校から五年連続五回目の出場で上位入賞が期待されます。

また、今年度は新たにAI実習装置と風力発電実習装置（風洞）が整備され、最先端技術の学びを通して新しいものづくり活動に挑戦していきます。

その他にも技能検定・電気工事士などの国家資格にも挑戦し、生徒のキャリアアップに努めています。



流通ビジネス科

今年度一年生十八名が第九期生として入学、学科オリエンテーションでは三年生が中心となり企画を行い、学科歓迎会を実施、感染症対策を実施しながら生徒間の交流レクリエーションを開催しました。

二年連続で中止だったインターンシップ就業体験については、地域のサービス・観光業に加え警察署や図書館などの公所で受け入れが再開し、二年ぶりに実施することができました。

三年生は進路目標実現に向け積極的に取り組んでおり、特に検定試験において上位級に合格しています。また、一年生においても六月、高校入学後初めての検定を受験、多くの合格者を出すと共に、目標に向かって努力することの大切さを学んでいます。

二年生においては、資格所得に加え情報技術向上を目指し、特に電子商取引の授業では「学校紹介ポスターの作成」の課題でPowerPointを用いて作成、好評を得ています。

高P連各種大会に参加して

県高P連研修会置賜大会参加

六月十日(金)に、三年ぶりで県高P連研修会が対面形式で開催されました。会場は、米沢市の伝国の杜でした。感染拡大防止対策として、ゆとりを持った座席配置となりましたが、全県から約百八十名が参加、本校からはPTA会長、研修委員、校長、総務部員の四名が参加しました。

研究発表では、最北地区からの北村山高校を始め、三校が、日頃のPTA活動を中心に発表しました。生徒数の減少、新型コロナウイルスへの対応等、この二年間どの高校もPTA活動を含め、大きな変化に直面したことを改めて感じました。講演会では、「発達障がい生徒の特長とその対応」の演題で、FR教育臨床研究所長・花輪敏男先生から、具体的な事例を挙げながら、発達障がいについて分かりやすく講演をいただきました。

ました。

参加者からは、「地域とのかかわりを大事にしながら、子ども達に考えさせ、取り組みさせる探究心が大切だと感じました」、また「改めてPTA活動とは、子供たちの学校生活を見守り、そして、支えていくことが活動の目的である」ということを強く感じました」という感想をいただきました。

東北高P連盛岡大会参加

六月三十日(木)から翌七月一日(金)にかけ、岩手県盛岡市・盛岡市民文化ホールを会場として、東北高P連盛岡大会が開催されました。県研修会と同様、久しぶりの対面形式での開催となりましたが、東北六県から八百名近くの参加者が集い、大きな盛り上がりを見せました。本校PTAを代表して、PTA副会長、総務部員の三名が参加しました。

研究協議は、従来の各県代表校の発表とは形式を変え、各県代表が一堂に登壇してのパネルディスカッション形式となりました。山形県のパネリストは、最北地区の新庄北高校でした。慣れない形式でもあり、どうなることかと思っておりましたが、岩手県高P連前年度会長のよどみな

いコーディネート、パネリストの皆さんの途切れることのない発言とユーモアあふれる応答で、例年以上の盛り上がりが見られました。

講演会では、地元岩手の酒蔵・南部美人の蔵元・久慈浩介さんから「南部美人の挑戦」地域を照らす光となるために」と題して、講演をいただきました。今年五十歳になる久慈さんが、海外への進出を進めた経緯、また新型コロナウイルス感染拡大の中、新しい事業を進めた経験など、何かついつい腑きがちになつてしまう私たちに、まだまだできることはあるし、一歩踏み出してみることで新しいものが見え、新しい発見がある

という勇気を与えてくださるお話でした。

参加者からは、「岩手県内の雇用等学校の応援団・チャリーディング部の活動映像が流れ、コロナ禍の中での活動縮小、部員の減少に悩む高校生の姿が、印象に残りました。」という、どの県、どの学校に共通する姿に共感する感想がありました。また、「世界中に拡散し続けている新型コロナウイルスの発生により、社会生活、そして、PTA活動も同じように様々な制約を受けながら、進めているのが現状です。しかし、東北各地のパネリストの発言にもありましたが、コロナ禍でPTA活動も委縮するのではなく、現状を確認し、出来ることは何かを考えて、工夫していくことも必要です。前例にとらわれず、創意工夫が必要であり、さまざまな情報を大切にしたいものです。PTAとして、これからも子供たちが安心・安全な毎日を過ごすことができるように、学校、家庭、地域が一体となって、

村山産業高校の価値を広げていけたらと思っているところです。」という、これからの将来も見据えた感想も挙げられました。



今後のPTA研修活動

○八月二十五日・二十六日 石全国高P連石川大会

※本校はWeb参加です。

※十二月三十一日まで視聴できますので、ご都合が付けばご視聴ください。

○十月二十九日に予定しておりました最北地区高P連研修大会は中止となりました。

部活動紹介(運動部編)

男子バスケットボール部

今年のバスケット部は、選手七人マナージャー二人計十人で活動しています。先生やコーチ陣みんなが経験者で昨年同様良い環境で活動できています。今年は、先輩達が続け、守ってきた、バスケット部の雰囲気継続し、地区大会入賞目指して頑張っていきたいと思っています。

女子バレーボール部

女子バレーボール部は、県大会に出場しました。現在は、三年生五人が引退し、二年生一人で活動しています。これまで先輩方が頑張ってくれたので、この部を無くしたくないです。ここで私たちの部の魅力について紹介します。ほとんどの人は高校からバレーボールを始めました。アドバースをし合い、基礎的なことはすぐに上達できます。集中してボールを繋げられると凄く楽しいです。

野球部

第一〇四回全国高等学校野球選手権山形大会での応援、大変ありがとうございました。昨年度はコロナウイルス感染

拡大により、一般の方の入場がない大会でしたが、今年度は感染対策をしながら、例年通りの大会となりました。試合の結果は残念ながら初戦敗退でしたが、選手は最後まで全力でプレーし、大きく成長することができました。野球が出来ることの喜び、多くの方々にささえられた大会であつたと改めて感じた大会でした。

サッカー部

私たちサッカー部は、「勝利」という目標に向かい、日々高め合っています。部活の終わりに必ず反省を行い、自分達でどうすれば良かったのかなどと、改善点を見つけています。また、あいさつの面にも力を入れています。プレーも大事ですが、まずは人として当たり前な事を日頃から心がけています。私たちの強みである、「仲の良さ」を活かして、これからも日々成長していきます。応援よろしくおねがいします。

硬式テニス部

硬式テニス部は二年生七人、一年生十一人で活動しています。活動場所は学校のコートか金谷コートです。基礎練習を中心に一生懸命練習しています。顧問の先生のアドバイスを聞いて皆上手になって

柔道部

私達柔道部は「短期集中」を掲げ、日々の練習に取り組んでいます。部員一人一人がそれぞれの目標達成に向けて自分の技を磨いています。練習では、色々な場面を想定した対応や切り換えなど柔道面だけでなく生活面でも使える能力を身に付けています。新メンバーで始動した今、大きな大会に向けて期待に応えられるように練習に取り組んでいます。応援よろしくおねがいします。

剣道部

剣道部は男子二人、女子マナージャー一人の計三人で活動しています。練習メニューは防具をつけての稽古だけでなく、体力トレーニングや形の練習など様々です。また、他校との合同稽古、練習試合に参加するなどして、技術の向上に努めています。部員どうしは勿論のこと、顧問の先生方ともとても仲が良く、笑顔が絶えない部活です。今後とも団結して頑張っていきたいと思います。

陸上競技部

私たち陸上競技部は計八人で活動しています。練習ではそれぞれのフォームの改善や体力づくりを中心に行っています。また、先生や仲間からフォームを見てもらうことも練習において大切なことです。その中で、自分たちの成長を実感することが大きな喜びとなっています。今後もその練習がどのようなことに繋がるのかをよく理解し、目標通りの結果を残していきたいと思います。

自転車競技部

私たち自転車競技部は、全国大会を目標に日々の練習をがんばっています。ロード練習を中心に平日は七〇キロ休日には一〇〇キロ以上走りまわります。その成果として今年度は、インターハイの出場権を二名が獲得することができました。しかし全国では、完走することすら厳しい状況です。全国で勝つにはチーム全体で強くなるということが課題だと思っています。チーム全体で強くなれるようにこれからの練習をがんばっていききたいと思います。

男子ハンドボール部

男子ハンドボール部は、選手十六名で活動をしています。基本的に日曜日以外は練習し

ています。男子ハンド部の目標は「県一位」です。経験者や高校からハンドボールを始めた人も居ます。顧問の羽島先生・安孫子先生の指導のもと、「県一位」という目標達成に向けて頑張っています。

山岳部

活動は単純明快「四季の野山を楽しむ」春は残雪と新緑と山菜採り。夏は沢歩き、釣りや焚火、夕暮れ登山で夜景観賞など冒険心をくすぐる週末プランがいっぱいでした。

インターハイが終わり新チームになりました。新人大会でも村産の伝統を守りながら「海まで歩く」を完結させ、秋冬の紅葉・スキー・ボルダリングも楽しみたいです。そのため放課後ボッカ(階段昇降)は地味だけど頑張ります。

卓球部

私たち卓球部は、現在男子五名、女子三名の計八名で、剣道場で活動しています。基礎的な練習を中心として、個人ごとの課題・弱点を克服し、県大会に出場することを目標として日々活動しています。また練習試合などの実践的な経験も踏まえながら成長していききたいと思います。

前期部活動等結果報告

東北高等学校総合体育大会

・自転車競技部
3km個人追抜き 3位 斎藤 光

・山形県高等学校総合体育大会
自転車競技部
男子1kmタイムトライアル2位 斎藤 光
男子3kmインデヴィデュアル・パースユート 1位 斎藤 光
男子スプリント 1位 斎藤 光
2位 湯澤 心良

男子ケイリン
男子4km速度競走 3位 内田尚太郎
2位 石川 大雅
男子スクラッチ 3位 日塔 牙
2位 斎藤 光
男子ポイントレース 2位 石川 大雅
3位 斎藤 光
男子チームスプリント 2位 庄司、斎藤、石川

男子4kmチームパースユート
2位 斎藤、石川、内田、庄司
女子500mタイムトライアル1位 菅井 真生
女子2kmインデヴィデュアル・パースユート 1位 菅井 真生
トラック総合 1位 菅井 真生
男子個人ロードレース3位 斎藤 光
女子個人ロードレース1位 菅井 真生
トラック総合 1位 菅井 真生

・山形部 男子団体 3位
・陸上競技部
男子総合 3位
男子トラック総合 3位
男子フィールド総合 2位
女子フィールド総合 2位
男子100m 2位 青柳 雄大
男子3000mSC 3位 土屋 昌大

・山形部 男子団体 3位
・陸上競技部
男子総合 3位
男子トラック総合 3位
男子フィールド総合 2位
女子フィールド総合 2位
男子100m 2位 青柳 雄大
男子3000mSC 3位 土屋 昌大

・山形部 男子団体 3位
・陸上競技部
男子総合 3位
男子トラック総合 3位
男子フィールド総合 2位
女子フィールド総合 2位
男子100m 2位 青柳 雄大
男子3000mSC 3位 土屋 昌大

男子4x400mR
2位 青柳雄大、石澤勇真、青木浩太、柴崎陸順

男子三段跳 3位 石澤 勇真
男子砲丸投 1位 伊藤 伯
女子三段跳 2位 伊藤 伯
女子砲丸投 2位 高橋 希愛

女子砲丸投 1位 今野 未那
女子三段跳 1位 今野 希愛
女子ハンマー投 1位 高橋 希愛
女子ハンマー投 1位 高橋 希愛

柔道部
男子団体 2位 伊藤 悠
男子個人66kg級 2位 大類 悠
男子個人66kg級 2位 大類 悠

男子個人66kg級 2位 大類 悠
男子個人66kg級 2位 大類 悠
男子個人66kg級 2位 大類 悠

男子個人66kg級 2位 大類 悠
男子個人66kg級 2位 大類 悠
男子個人66kg級 2位 大類 悠

男子個人66kg級 2位 大類 悠
男子個人66kg級 2位 大類 悠
男子個人66kg級 2位 大類 悠

男子個人66kg級 2位 大類 悠
男子個人66kg級 2位 大類 悠
男子個人66kg級 2位 大類 悠

男子個人66kg級 2位 大類 悠
男子個人66kg級 2位 大類 悠
男子個人66kg級 2位 大類 悠

男子個人66kg級 2位 大類 悠
男子個人66kg級 2位 大類 悠
男子個人66kg級 2位 大類 悠

男子個人66kg級 2位 大類 悠
男子個人66kg級 2位 大類 悠
男子個人66kg級 2位 大類 悠

男子個人66kg級 2位 大類 悠
男子個人66kg級 2位 大類 悠
男子個人66kg級 2位 大類 悠

男子個人66kg級 2位 大類 悠
男子個人66kg級 2位 大類 悠
男子個人66kg級 2位 大類 悠

男子個人66kg級 2位 大類 悠
男子個人66kg級 2位 大類 悠
男子個人66kg級 2位 大類 悠

男子個人66kg級 2位 大類 悠
男子個人66kg級 2位 大類 悠
男子個人66kg級 2位 大類 悠

男子個人66kg級 2位 大類 悠
男子個人66kg級 2位 大類 悠
男子個人66kg級 2位 大類 悠

男子個人66kg級 2位 大類 悠
男子個人66kg級 2位 大類 悠
男子個人66kg級 2位 大類 悠

男子個人66kg級 2位 大類 悠
男子個人66kg級 2位 大類 悠
男子個人66kg級 2位 大類 悠

男子個人66kg級 2位 大類 悠
男子個人66kg級 2位 大類 悠
男子個人66kg級 2位 大類 悠

男子個人66kg級 2位 大類 悠
男子個人66kg級 2位 大類 悠
男子個人66kg級 2位 大類 悠

男子個人66kg級 2位 大類 悠
男子個人66kg級 2位 大類 悠
男子個人66kg級 2位 大類 悠

男子個人66kg級 2位 大類 悠
男子個人66kg級 2位 大類 悠
男子個人66kg級 2位 大類 悠

男子個人66kg級 2位 大類 悠
男子個人66kg級 2位 大類 悠
男子個人66kg級 2位 大類 悠

男子個人66kg級 2位 大類 悠
男子個人66kg級 2位 大類 悠
男子個人66kg級 2位 大類 悠

男子個人66kg級 2位 大類 悠
男子個人66kg級 2位 大類 悠
男子個人66kg級 2位 大類 悠

男子個人66kg級 2位 大類 悠
男子個人66kg級 2位 大類 悠
男子個人66kg級 2位 大類 悠

男子個人66kg級 2位 大類 悠
男子個人66kg級 2位 大類 悠
男子個人66kg級 2位 大類 悠

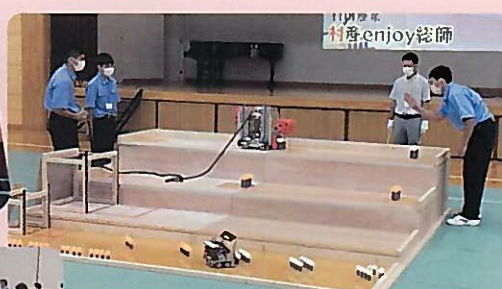
男子個人66kg級 2位 大類 悠
男子個人66kg級 2位 大類 悠
男子個人66kg級 2位 大類 悠

男子個人66kg級 2位 大類 悠
男子個人66kg級 2位 大類 悠
男子個人66kg級 2位 大類 悠

男子個人66kg級 2位 大類 悠
男子個人66kg級 2位 大類 悠
男子個人66kg級 2位 大類 悠

男子個人66kg級 2位 大類 悠
男子個人66kg級 2位 大類 悠
男子個人66kg級 2位 大類 悠

男子個人66kg級 2位 大類 悠
男子個人66kg級 2位 大類 悠
男子個人66kg級 2位 大類 悠



村産ギャラリー



右掲の絵をご存知でしょうか。本校職員玄関ホールに掲示されている本校同窓生高嶋祥光氏の作品です。十一月三日から二十日まで、山形市・山形美術館で高嶋祥光氏の作品を展示する企画展が開催されます。深まる秋の季節に、芸術作品に触れてみてはいかがでしょうか。

あとがき

例年になく早く梅雨が明け、残暑も厳しい年でしたが、夏休みも終わり、気がつけばもう、秋。早いものです。今回も無事に発行する事ができました。ご協力いただきました皆さま、本当にありがとうございます。

広報委員会副委員長 有路正浩

